

生活者の視点を大切に、
国民の生活を守ります。



「企業部会」発足

- ・第1回 企業部会幹事会

会員紹介 *We Are Seidanren!*

- ・「第5回 食品産業もったいない大賞」
農林水産大臣賞 受賞
ユニー株式会社
農林水産省食料産業局長賞 受賞
三菱食品株式会社
審査委員会委員長賞 受賞
森永乳業株式会社
- ・新入会員
株式会社アトミック
SMBC日興証券株式会社
株式会社 旺文社
株式会社ビッグボーイジャパン

活動報告

- ・「えらぶ♡楽しむ♡考える
世田谷の暮らし」出展
～もったいないゼロキャラバン～
- ・定例勉強会

事務局からのお知らせ

- ・今後のスケジュール

■ 生団連の使命

「国民の生活・生命を守る」

■ 生団連の活動指針

- 一、国民生活の安全・安定の確保と質の向上、関連業界の健全な発展への貢献を通じて、「国民の生活・生命を守る」という使命を追求し続けます。
- 一、世界的な視点から日本の現状を顧みて、立ちほだかる諸課題に対し、御上頼りになることなく「自ら解決に取り組む先駆け」となることを目指します。
- 一、生産・製造・流通サービスの業界と消費者団体が一体となって大いに研究・議論を尽くし切磋琢磨して、政府・行政の政策運営に対する発言力、提案力、そして実現力の確保に努めます。

CONTENTS

■ 生団連の使命・活動指針 P.1	・ 新入会員	
■ 「企業部会」発足 P.2	株式会社アトミック P.9
・ 第1回 企業部会幹事会		SMBC日興証券株式会社 P.10
■ 会員紹介 We Are Seidanren!		株式会社 旺文社 P.11
・ 「第5回 食品産業もったいない大賞」		株式会社ビッグボーイジャパン P.12
・ 農林水産大臣賞 受賞		■ 活動報告	
ユニー株式会社 P.5	・ 「えらぶ楽しむ考える 世田谷の暮らし」出展	
・ 農林水産省食料産業局長賞 受賞		～もったいないゼロキャラバン～ P.13
三菱食品株式会社 P.7	・ 定例勉強会 P.14
・ 審査委員会委員長賞 受賞		■ 事務局からのお知らせ P.14
森永乳業株式会社 P.8	・ 今後のスケジュール	

第1回 企業部会幹事会

平成30年2月7日(水) 15:00～
ホテルニューオータニ宴会場階「AZALEA」

「企業部会」は、すでに発足している「消費者部会」と同様、昨年6月の定時総会でその設置の承認をいただいた新機関です。12月の第3回常務理事会・理事会合同会議にて、「設立趣意書」と、同会を具体的に運営していく「企業部会幹事」のメンバーについての承認をいただき、この度「第1回企業部会幹事会」が開催され、正式に「企業部会」が発足しました。



2月7日(水)の「第1回企業部会幹事会」には、業界団体会員を中心とする企業部会幹事メンバーと、代表者出席の叶った役員企業会員の有志が出席し、生団連が取り組むべき様々な議題について議論がなされました。

〈企業部会設立趣意〉 生団連企業部会設立趣意書より抜粋

わが国は国家と官僚の主導により、製造業の発展を柱として 1945 年の焦土から短期間で戦後復興を成し遂げ、世界有数の工業国となった。しかしながら社会が高度に発展した現在、わが国では流通・サービス産業を中心とした第三次産業がGDPの7割を超えるという構造変化が進んでいる。

このような変化にもかかわらず、わが国の様々な制度や仕組みは、現実の国民経済構造に十分対応できていない状況にある。

国民生活に密着し、国民生活に直接的責任を負う我々生活産業は、一企業や一業界の枠組みを超え、国民利益＝生活産業利益の観点から国の諸制度と仕組みの改善・改革を遂行し、国民の生活・生命を守り、持続的な国の安定と繁栄をはかるとともに、世界の調和的発展に資するため、ここに生団連企業部会を設立する。

生団連企業部会設立趣意書の全文は、生団連ホームページでご確認いただけます。

<http://www.seidanren.jp/information/pdf/176.pdf>

第1回企業部会幹事会 議題

- 議題1:企業部会設立について
- 議題2:透明性の高い財政と予算制度の構築
- 議題3:「同一労働同一賃金」の考え方
- 議題4:「106万円・130万円の壁」
- 議題5:カジノ解禁の問題
- 議題6:「外国人労働者」受け入れ
- 議題7:第2回消費者部会の議事報告
- 議題8:食品衛生法等の改正骨子案

会議の冒頭では、企業部会の発足を受け、部会長に就任された小川会長より、企業部会設立趣意書についての説明がありました。その中で、

- 「この国のインフラを活用して事業展開する以上、この国が傾くことは流通業、製造業、卸売業にとって非常に憂慮すべきことである」
- 「日本の将来に関わる大きな問題について、法制化や制度の改善改革を推進するべく、企業・業界の枠を超えて力を結集していきたい」



とのご発言があり、参加された皆様からも共感と賛同の声が聞かれました。

また、各議題ではこれまで事務局が調査してきた内容や、今後の方向性等について報告を行い、参加された皆様に熱心に議論していただきました。業界団体ではなく、「国民団体」としての生団連ならではの幅広い議題に対し、様々な観点からご意見を頂戴しました。

企業部会では企業部会幹事を中心に、先に立ち上げた消費者部会とも連携を図りながら、重点課題や業界内あるいは業界横断的な問題の情報共有、国政に対する提言などに積極的に取り組んでまいります。

この企業部会幹事会での議論は、生団連の理事会や総会へも展開させてまいります。



第1回企業部会幹事会 議事参加者

敬称略

企業部会幹事メンバー (代理出席含む)	前田 伸 司	オール日本スーパーマーケット協会 常務理事
	東 小 蘭 寛	協同組合セルコチェーン 理事
	吉 田 康 夫	全国商店街振興組合連合会 専務理事
	谷 茂 岡 正 子	特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟 会長
	高 野 秀 夫	日本小売業協会 専務理事
	川 野 幸 夫	一般社団法人日本スーパーマーケット協会 会長
	江 口 法 生	一般社団法人日本スーパーマーケット協会 専務理事
	元 松 明 彦	一般社団法人日本専門店協会 専務理事
	小 濱 裕 正	日本チェーンストア協会 会長代行
	山 崎 茂 樹	日本百貨店協会 専務理事
	齋 藤 充 弘	一般社団法人日本ボランタリーチェーン 会長
	玉 上 宗 人	株式会社ニトリホールディングス 常務取締役
役員企業会員	高 垣 晴 雄	伊藤忠食品株式会社 代表取締役・社長執行役員
	平 富 郎	株式会社エコス 代表取締役会長兼 CEO
	磯 崎 功 典	キリンホールディングス株式会社 代表取締役社長
	國 分 勘 兵 衛	国分グループ本社株式会社 代表取締役会長兼 CEO
	松 田 鞆 夫	株式会社 C&F ロジホールディングス 代表取締役会長
	久 野 貴 久	日清オイリオグループ株式会社 代表取締役社長
	濱 口 道 雄	ヤマサ醤油株式会社 代表取締役会長
	清 水 信 次	国民生活産業・消費者団体連合会 名誉会長
	小 川 賢 太 郎	国民生活産業・消費者団体連合会 会長
	井 上 淳	国民生活産業・消費者団体連合会 専務理事
小 山 敬 次 郎	国民生活産業・消費者団体連合会 参与	
佐 藤 聡 司	国民生活産業・消費者団体連合会 事務局長	



1月24日(水)、農林水産省の補助事業の一環で、一般社団法人日本有機資源協会が主催する「第5回食品産業もったいない大賞」の表彰式・事例発表会が開催されました。この賞は、持続可能な食品産業の発展に向けた取り組みを促進・支援する企業・団体・個人を広く表彰するものです。生団連の会員企業様も受賞されており、ご紹介いたします。

農林水産大臣賞 ユニー株式会社 食品リサイクルループは命をつなぐ環



今回受賞された取り組みを簡単に教えてください

ユニーでは、食品リサイクル法を順守し、食品廃棄物の発生抑制に取り組んでいます。2007年に全国で初めて、食品リサイクル法に基づく「再生利用事業計画」の認定を環境大臣・農林水産大臣・経済産業大臣から受けて以来、店舗所在地域の再生利用事業者、農業生産者とのパートナーシップを基に、食品リサイクルループの継続的運用と新たな構築を進めています。



食品残さを排出するユニーと、堆肥や飼料を製造する再生利用事業者、それを使って農畜産物を生産する農業生産者、そしてそれを販売して消費者に届けるユニーの、「食品リサイクル=命をつなぐ環」を回し続けることが、地域循環農業です。社内の役割としては、再生利用事業者の選定や製造する堆肥・飼料の品質確認については環境担当者が、生産された農産物の品質確保や販売については仕入れ担当者が責任を持って担当しています。

こうした野菜はエコ野菜売場としてコーナー化し、生産者の顔を付けて販売する等、他の商品との違いをアピールすることで差別化しています。おかげさまでお客様から品質面でも評価され、好調な販売となっています。



◀▲エコ野菜売場と実際に販売されている野菜



食品も含めて、廃棄物削減のポイントは何でしょうか？



スーパーマーケットの店舗では、様々な商品を扱っておりますので、様々な廃棄物が発生してしまいます。こうした営業活動から発生する廃棄物を、ユニーでは2003年から、リサイクル資源として活用するため素材ごとに19分類に分ける分別と、廃棄物の発生状況を把握し、発生抑制効果を測定する計量を実施しています。こうして廃棄物を見える化することが、廃棄物の排出量を削減する大きなポイントであると思います。また、食べられる食品が店舗で廃棄される「製品廃棄」の削減においては、消費者と連携した取り組みが必要であると思います。



次世代を担う子供たちへの環境教育にも力をいれていますね！

ユニーでは、持続可能な社会を担う子供達が、お店探検や農業体験・自然探検などを通じて、環境、社会貢献、食糧問題、命の大切さなどを学び、美しい自然の中で生きていくための力を育むことを願い、活動しています。

食品リサイクルに関連した所では、子供達を対象に、未利用食品(生ごみ)を原料に堆肥を製造する堆肥場の見学を行なっています。ここでは、野菜くずと魚のアラを堆肥場に入れて発酵させ、堆肥を作ります。発酵する時はガスが発生し、臭気も強いのですが、出来上がった堆肥は完熟しているため、臭いも消え、さらさらとした土のようになります。

また、こうした堆肥を利用した畑での収穫体験も実施し、子供達が生物多様性の仕組みを知る良い機会になっていると評価しております。



▲堆肥場の見学



▲堆肥を利用した畑での大根の収穫体験

今後はどのような展開を考えられているのですか？



企業としてフードバンクにもチャレンジしていきたいと考えています。現状ではトレーサビリティの明確化が課題ですので、ここがクリアできる商品群からでも先行して進めていきたいと思っています。

POINT!



- ・廃棄物を分別・計量し、見える化することで削減!
- ・店舗を展開する地域で再生利用事業者・生産者と連携!
- ・次世代を担う子供達への環境教育も充実!

農林水産省食料産業局長賞
三菱食品株式会社

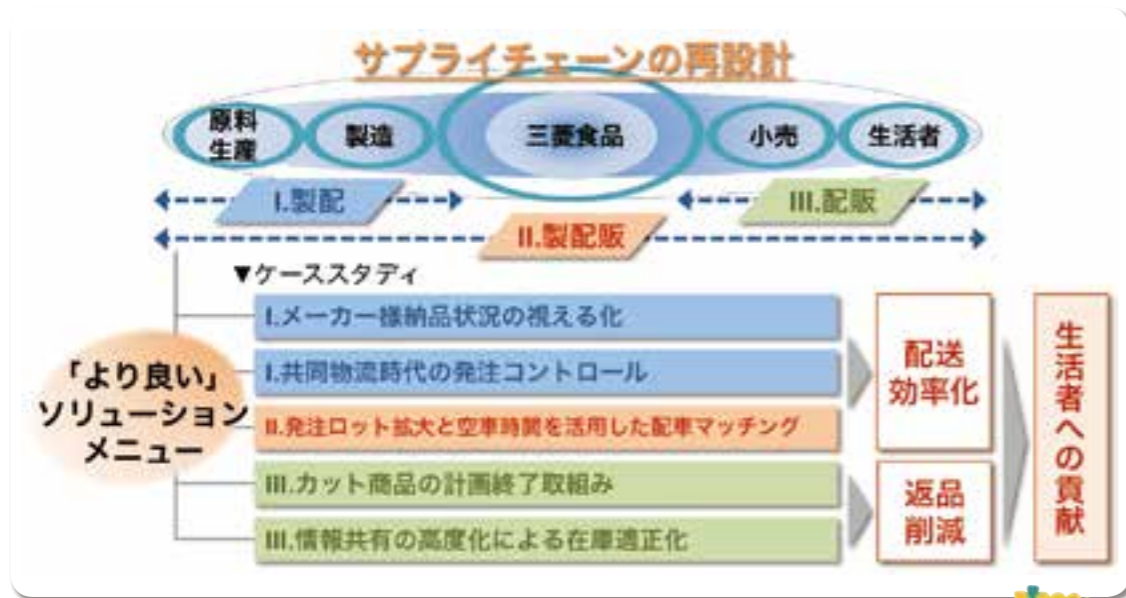


製・配・販連携によるサプライチェーン全体の効率化活動



配送の効率化や返品削減の取り組みを具体的に教えてください

三菱食品では、サプライチェーン全体を考える卸売業の特徴を活かし、配送の効率化や返品削減に取り組んでいます。その中で、製・配・販の三方良しを積み上げ、生活者に寄与していくことを目指しています。食品ロス削減の観点からは特に、配・販の連携による返品削減に力を入れています。具体的には、特定小売業との取り組みでカット商品の情報を共有し、残在庫を限りなくゼロにしています。これまでは、カット日まで欠品しないように在庫を持っていたため、カット日以降は滞留在庫となり、返品や廃棄の要因となっていました。また、小売業より個店データの提供を受け、確実なデータを活用した発注・在庫コントロールを実施することにより、在庫過多による廃棄ロスや返品を防ぎつつ、欠品も防止する仕組みづくりに取り組んでいます。



今後の製・配・販の連携はどのように進化させていくお考えでしょうか？

現状の問題を一気に解決させることは困難であると認識しています。しかしながら、この取り組みのように製・配・販の更なる連携の促進や相互のインフラ・情報共有によって、改善できる余地は多くあると考えています。引き続き、賛同いただけるメーカー・小売業を増やしながら、連携を密にし、エリアや立地ごとにお互いの課題やニーズをマッチングして解決プランを導き出していきます。



- ・サプライチェーン全体で連携した取り組み!
- ・情報共有によって、返品・廃棄を削減!

審査委員会委員長賞
森永乳業株式会社



長期保存可能な豆腐の開発及びおからの飼料化



長期保存できる豆腐とおからの飼料化について簡単に教えてください

森永乳業では、1986年より保存料不使用ながら長期間保存が可能な無菌充填豆腐を販売しています。日本では冷蔵で10ヶ月販売が可能です。東日本大震災以降、こうした長期保存可能な食品の価値が見直されて、食品ロス削減に繋がる点からも再注目されています。一方、豆腐の製造過程においては、大量のおからが生成されます。これは長らく産業廃棄物として当社が責任を持って処理してきましたが、現在はこれを乳酸発酵させることで「サイレージ飼料」として有効活用しています。できた飼料は酪農家に販売され、その飼料を食べて育った牛の乳を森永乳業の工場へ受け入れて乳製品の原料としています。飼料化することで、産業廃棄物の処理費用が削減される以外にも、飼料の輸入による輸送エネルギーの削減、国産の安価な飼料による酪農家の経営改善などにも寄与しています。



豆腐の常温販売が可能になるとどのような効果がありますか？

アメリカ・ヨーロッパ等の海外では長期保存可能な豆腐を常温で販売できるため、利便性が非常に高いと評価されています。今後、日本でも国の規格基準が改正され常温販売が可能になれば、食品ロスの削減だけでなく、災害時の緊急物資としても本格的に活用できると考えています。



- ・無菌充填技術により、豆腐の長期保存化を実現!
- ・産業廃棄物として処理していたおからが牛の飼料に!

生団連に新たに加入した新入会員を紹介いたします。

新入会員〈株式会社アトミック〉



株式会社アトミック

【基礎データ】

- 設立：平成6年9月27日
- 従業員数：30名
- 事業内容：配食事業、消耗品販売、高齢者住宅運営及びコンサルタント事業
- 所在地：〒590-0954 大阪府堺市堺区大町東1-1-2
- 電話番号：072-238-1011(代表)
- URL：https://atomic-company.co.jp/atomic

『株式会社アトミック』は、社名の由来どおり、物質の最小単位「アトム(原子)」のように、物事を根源から見極め、現代社会に貢献する企業グループを目指しております。

グループ会社には障害福祉事業の『株式会社みらいじゅ』、高齢者福祉事業の『社会福祉法人天照会』があり、ご利用者様それぞれのニーズに合わせたサービスをグループ全体で行っております。

社会に貢献し、地域の方々と共に生きる企業グループを目指していきます。



代表取締役社長 中岡 孝

新入会員〈SMBC日興証券株式会社〉

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券



SMBC日興証券株式会社

【基礎データ】

- 設立：2009年6月(創業1918年7月)
- 従業員数：9,095人(2017年12月31日現在)
※SMBC日興証券単体
- 事業内容：証券業務
- 所在地：〒100-8325 東京都千代田区丸の内3-3-1
- 電話番号：03-5644-3111(本社代表)
- URL：https://www.smbcnikko.co.jp

当社は、1918年に川島屋商店として創業以来、これまで、大切なお客さまとともに歩み、成長してまいりました。2009年10月に三井住友フィナンシャルグループの一員となってからは、「国内外において質の高いサービスを提供する『本邦No.1の総合証券会社』」を目指して体制整備を進めました。

2018年7月7日、当社は創業100周年を迎えます。同年は、この100年の歴史の集大成であると同時に、ここから先の100年の第一歩となる年でもあります。そのような記念の年の始まりである1月1日に、SMBC日興証券は、これまで三井住友フィナンシャルグループの証券子会社として互いに切磋琢磨してきましたSMBCフレンド証券と合併しました。今後も、新しく仲間になりましたSMBCフレンド証券出身の社員とともに、SMBC日興証券の役員・社員、また三井住友フィナンシャルグループ全体が「いっしょに」力を合わせ、常にお客さまの「明日のこと」を誠実に考えて、お客さまに新しい価値を提供できるよう、努めてまいります。



代表取締役社長 清水 喜彦



高齢者食配食事業

高齢者施設や介護施設でご利用者様に最も喜ばれる瞬間は「食事」といっても過言ではないと思われます。安定した質の高い食事サービスは、他施設との明確な差別化にもつながり、ご利用者様、施設様の立場となり、他社には真似できない食事サービスを目指していきます。「食事の時間を楽しみ・喜びに帰る」そんな食事サービスを心掛けていきます。

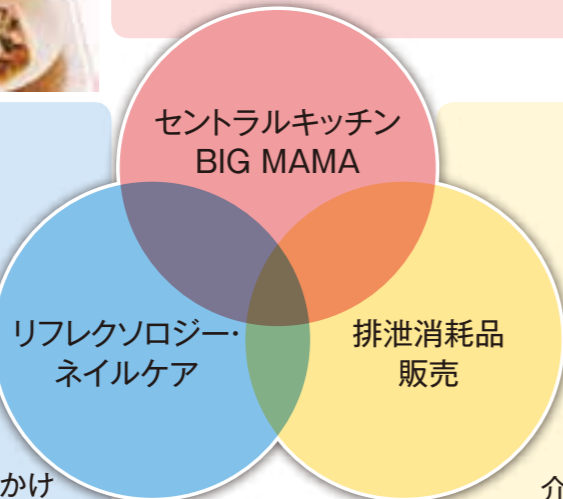
消耗品販売事業

よりよい介護、よりよい毎日を過ごすために、もっと安心、もっと使いやすい介護用品おむつを望む方々は日に日に増えています。そのような方々の声を受け入れ、当社は介護用品おむつ、介護関連商品を1袋単位で販売、在宅はもちろん施設にも配達しています。よりよい明日を全ての人に…安心、安全なおむつをご提供いたします。

リフレクソロジー・ネイルケア事業

高齢者の方を対象とした“ホリスティックケア”に着目し、介護事業所への導入を促進しております。

“ホリスティックケア”とは？
心と身体の両面に日常的に働きかけることで、人が本来もつ自然治癒力を引き出し免疫力を高め、病気になりにくい身体をつくる取り組みです。



お客様が安心してご相談いただけるよう、全国148店舗*の本支店では、コンサルティングスペースにプライバシーをしっかりと確保する個室ブースをご用意しています。
*2018年1月時点



株式、債券、アセットマネジメント商品においては、最先端の技術を取り入れた卓越したトレーディングと商品開発力で、お客さまの多様なニーズに合った商品を提供します。



三井住友銀行との口座連携サービス「バンク&トレード」は、当社と三井住友銀行の口座をつなぐ、資産形成に便利なインターネット専用サービスです。

新入会員〈株式会社 旺文社〉



＝ 株式会社 旺文社 ＝

【基礎データ】

- 設立：1931年10月1日
- 従業員数：175名(2018年1月現在)
- 事業内容：教育・情報をメインとした総合出版と事業
- 所在地：〒162-8680 東京都新宿区横寺町55
- 電話番号：03-3266-6400(代表)
- U R L：https://www.obunsha.co.jp/

(株)旺文社は、昭和6年創業の、教育・情報をメインとした総合出版社です。旺文社には、創業者赤尾好夫が唱えた社是があります。



夢高くして足地にあり
良書を提供して英才を育て
文化を興して以て栄える

「理想は高く掲げよう、しかし足はしっかりと大地を踏みしめていかななくてはならない。」

弊社はこれまで『豆単』、『旺文社模試』、『ラジオ講座』など、常に新しい学習体験を提供してまいりました。累計1,700万部を誇るロングセラーシリーズ『英単語ターゲット』を始めとした学習参考書、辞書、受験情報雑誌『螢雪時代』などの出版に加え、webメディア運営、電子書籍、アプリなど、他社に先駆けたデジタル展開を推進しています。

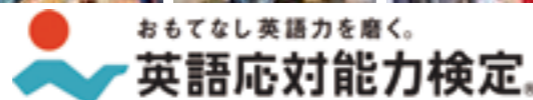
伝統ある社風を守りながらも、新たな分野に挑戦し続けてまいります。今後とも、なお一層のご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。



【インバウンド事業のご紹介】 おもてなし英語力を磨く「英語対応能力検定」

訪日外国人の急増に伴い、サービス業の方々には、英語で対応できる人材育成が急務となっています。

旺文社では、カシオ計算機、毎日新聞社との合弁会社を通じて、接客現場で必要なおもてなし英語力を測る「英語対応能力検定」事業を行っています。



また、検定公認教材である、書籍シリーズ『とにかくひとこと英会話』、法人向けeラーニング教材『ココマナとにかくひとこと英語対応講座』の制作や販売、学習提案を通し、サービス業の方々の接客英語力向上に貢献してまいります。



生団連 入会のご挨拶

昨年より「英語対応能力検定」事業を立ち上げ、接客業界という新たな分野への挑戦を行っています。教育や出版を取り巻く環境は激変していますが、創業86年以上のノウハウとコンテンツ力を生かしながら、教育イノベーターとして常に良質で新しいサービスをご提供するよう努めています。「教育」を通じて皆様の生活の充実と発展に貢献し、生団連の理念に寄与できるよう精進いたします。



代表取締役社長 生駒 大 志

新入会員〈株式会社ビッグボーイジャパン〉



＝ 株式会社ビッグボーイジャパン ＝

【基礎データ】

- 設立：1977年11月10日
- 従業員数：6,410名(2017年12月末現在)
- 事業内容：レストラン経営
ハンバーグ&グリルレストラン「ビッグボーイ」
「ヴィクトリアステーション」
- 所在地：〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル
- 電話番号：03-6833-8001(代表)
- U R L：http://www.bigboyjapan.co.jp

(株)ビッグボーイジャパンは2017年11月を以って、創業40周年を迎えました。第一号店を大阪府箕面市に出店して以来、北海道から鹿児島まで、現在312店舗（ビッグボーイ270店舗、ヴィクトリアステーション42店舗）を展開しております。

2002年11月に「世界から飢餓と貧困を撲滅する」という企業理念を掲げるゼンショーグループの一員となりました。これからはハンバーグ・ステーキ、サラダバーを中心とした「安全でおいしい食を手軽な価格で提供」し続け、皆様に愛される店舗づくりを目指してまいります。

今後ともよろしくお願いたします。



代表取締役社長 開 健 介

(株)ビッグボーイジャパンは、「安全でおいしい商品の提供を通じて、お客様に快適な空間を楽しんでもらう」という基本姿勢をもって、日々店舗運営を行っております。

この度は生団連の「国民の生活・生命を守る」という理念に強く共感し、入会いたしました。我々ビッグボーイジャパン全メンバーもこの理念を通じ、日本国民の皆様と共に感じていただけるハンバーグ&グリルレストランを目指してまいります。

皆様どうぞよろしくお願いたします。

「えらぶ・楽しむ・考える 世田谷の暮らし」出展 ～もったいないゼロキャラバン～

2月3日(土)、世田谷区2R推進会議と東京都市大学伊坪研究室が主催するイベント、「えらぶ・楽しむ・考える 世田谷の暮らし」に出展いたしました。当日は生団連の取り組む“誰もができる食品ロス削減策”を分かりやすくご紹介しながら、参加した各団体との交流・意見交換をいたしました。また、他の参加団体では、エコな暮らしを実践するための「ふろしき」の使い方講座や、世界一使われている植物油である「パーム油」を使ったバスボム作り体験が実施され、大いに盛り上がったイベントとなりました。

今年もこうしたイベントへ積極的に出展し、活動を深めてまいります。



▲司会を務める特定非営利活動法人まちこらぼ柴田理事長



▲ふろしきの使い方講座の様子

定例勉強会

国際経済研究所と共催で定例勉強会を開催しています。毎回講師の先生をお招きし、様々なテーマでご高話を頂戴し、質問・疑問にお答えいただいています。ご興味がありましたら、是非ご参加ください。

	講師の先生方	テーマ
12月度	野田 佳彦 先生 (衆議院議員、第95代内閣総理大臣)	『内外情勢について』
1月度	稲田 朋美 先生 (衆議院議員、前防衛大臣)	『伝統と創造』

(講師の肩書は講演当時)



12月度



1月度

事務局からのお知らせ

《今後のスケジュール》

現時点で確定しているスケジュールをお知らせいたします。

- 平成30年度 第1回 常務理事会・理事会合同会議
日時：平成30年4月6日(金) 12:00～14:30
場所：帝国ホテル
- 平成30年度 定時総会(兼 第2回 常務理事会・理事会合同会議、記念講演会・記念パーティー)
日時：平成30年6月13日(水) 15:00～(時間は前後する可能性があります)
場所：ホテルニューオータニ
※全会員対象。記念パーティーにつきましては、広くご参加をお待ちしております。
- 平成30年度 第3回 常務理事会・理事会合同会議
日時：平成30年11月30日(金) 時間未定
場所：ホテルニューオータニ



国民生活産業・消費者団体連合会